

案件に関連する指摘・対応状況

国名：案件名
パキスタン：空港保安強化計画
(1) 問題・指摘の概要
目標とした完成3年後において大部分の機材が未稼働であり、機材の維持管理を適切に実行するための外部の技術的サポートも十分に得ることができず、運営・維持管理の技術と状況に問題があるとして、2018年度の事後評価では総合評価「D」となった。
(2) 原因
不安定な電力供給や電圧変動等により、本事業で整備した保安機材（爆発物検知装置、X線検査装置等）が故障し、実施機関（民間航空庁）は国内のメーカー代理店とメンテナンス契約を締結し、機材を修理する予定であった。 しかし、メンテナンス契約は締結されておらず、メンテナンス体制を構築できていない。
(3) これまでの対応及び現状等
保安機材の故障原因を分析し、今後の対策を検討するため、2021年1月からフォローアップ協力を実施し、メンテナンス契約締結支援や故障した機材の修理のため、機材を製造した米国メーカーへ働きかけを行ってきた。しかし、同社の体制変更により、実施機関を含む新規取引先に対しては同社内検討委員会による取引審査が必要となっているため、同社は対応を行っていない。
(4) 今後の対応・教訓等
適切な維持管理に不可欠な機材メーカーとのメンテナンス契約締結の目途が立たず、機材の修理・更新が困難な状況にある。 保安機材の故障原因として、機材の許容電圧範囲を超える異常電圧の発生、維持管理が不十分であった可能性があることが明らかとなっており、今後の類似案件においては、下記に留意する。 <ul style="list-style-type: none">保安機材のような精密機器を導入する場合は、実施機関がメーカー代理店等とメンテナンス契約を締結し維持管理することが前提となるため、維持管理費用等について、事業の計画段階から実施機関に対して財源の確保を要請する。実施機関のみならず機材の運用者等を十分に考慮して機材仕様を検討・提案する。既存の施設等に対して機材を調達・整備する場合には、電源・電圧等の施設状況・施設スタッフの能力を正確に把握し、これが機材故障の原因とならぬよう必要な対策を講じることが必要である。